

令和7年度第1回千葉県博物館協議会  
次 第

日時：令和7年8月28日（木）  
10時00分～12時00分  
会場：千葉県立中央博物館 会議室

1 開 会

2 中央博物館館長あいさつ

3 委員紹介・出席職員紹介

4 報 告

- (1) 令和6年度 千葉県立美術館・博物館事業報告について
- (2) 令和7年度 千葉県立美術館・博物館事業計画について
- (3) 千葉県立美術館・博物館の評価制度について

5 その他

6 閉 会

## 千葉県博物館協議会委員 名簿

No.	領 域	氏 名	所 属 等	備考
1	学校教育	<small>さいとう のりこ</small> 齋藤 智子	栄町立安食台小学校 校長	
2	社会教育	<small>ふ せ としゆき</small> 布施 利之	君津市教育委員会 生涯学習文化課 副課長	
3	家庭教育	<small>う き い づ み</small> 卯木 伊津美	千葉県子ども会育成連合会 理事	
4	学識経験者	<small>ゆ あ さ は る ひ さ</small> 湯浅 治久	専修大学文学部 教授	
5	学識経験者	<small>せ き ざ わ</small> 関沢 まゆみ	国立歴史民俗博物館研究部 教授	オンライン
6	学識経験者	<small>こ う の</small> 鴻野 わか菜	早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部 教授	オンライン
7	学識経験者	<small>ほ そ や つ よ し</small> 細矢 剛	国立科学博物館 副館長（兼）植物研究部長	ご欠席
8	学識経験者	<small>た か は し ま さ し</small> 高橋 正	東邦大学 名誉教授	
9	学識経験者	<small>う す ざ か こ う じ</small> 臼坂 光二	NHK 千葉放送局 局長	新規 ※人事異動による
10	学識経験者	<small>か ど わ き い ち ろ う</small> 門脇 伊知郎	合同会社わんぱく 代表	

（任期：令和6年12月1日～令和8年11月30日）

## 令和7年度 第1回千葉県博物館協議会 出席者名簿

### 千葉県立美術館・博物館長

館 名	職 名	氏 名
千葉県立美術館	館長	貝塚 健
千葉県立中央博物館	館長	四柳 隆
千葉県立現代産業科学館	館長	松田 光司
千葉県立関宿城博物館	館長	糸原 清
千葉県立房総のむら	館長	西原 正男

### 千葉県 環境生活部 スポーツ・文化局 文化振興課

部課名	職 名	氏 名
環境生活部文化振興課	副参事兼室長	山口 篤
環境生活部文化振興課	主幹	小野 理華
環境生活部文化振興課	副主幹	村田 明久
環境生活部文化振興課	副主査	宮川 尚子
環境生活部文化振興課	技師	鈴木 健人

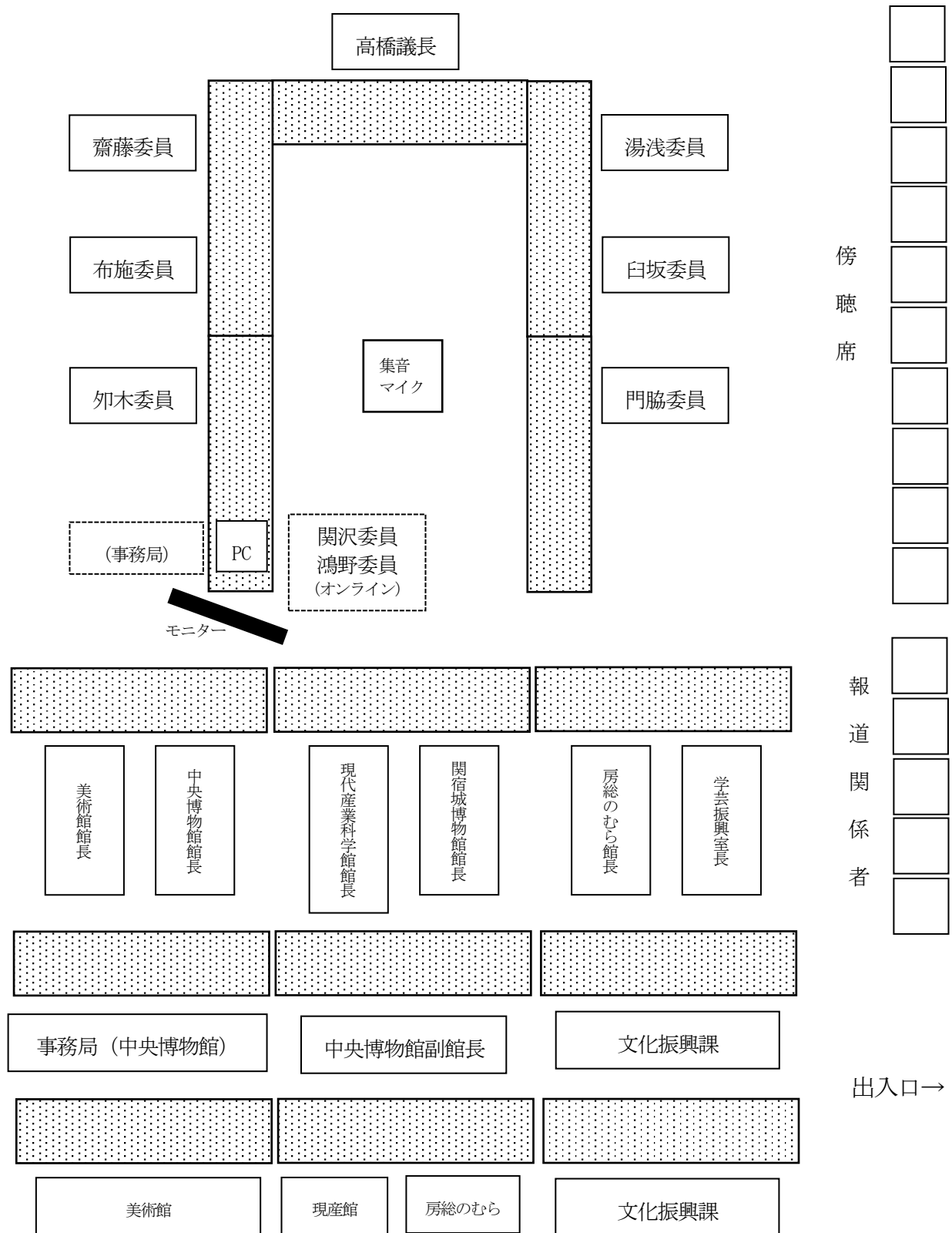
### 千葉県立美術館・博物館職員

館 名	職 名	氏 名
千葉県立美術館	副館長	高山 順子
千葉県立美術館	普及課長	立和名 啓人
千葉県立中央博物館	副館長	田中 一成
千葉県立中央博物館	副館長	半澤 幹雄
千葉県立現代産業科学館	学芸課長	小笠原 淳
千葉県立房総のむら	副館長兼事業課長	鎌形 佐知夫

### 事務局

館 名	職 名	氏 名
千葉県立中央博物館	企画調整課長	猪野 義信
	上席研究員	監物 うい子
	主事	川島 舞香

# 令和7年度第1回千葉県博物館協議会会議 座席表



前方出入口は封鎖

傍聴席

報道関係者

出入口→



資料 1

**報告 1 : 令和 6 年度 千葉県立美術館・博物館事業報告について**  
**報告 2 : 令和 7 年度 千葉県立美術館・博物館事業計画について**

令和 7 年度 第 1 回千葉県博物館協議会

令和 7 年 8 月 2 8 日 (木) 於：千葉県立中央博物館



# 千葉県立美術館

# 千葉県立美術館 令和6年度 開館50周年記念事業

千葉県立美術館 50th

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<div>企業連携事業 HELLO! コレクション ZOZO×千葉県立美術館 ●ZOZO×知事 トークイベント ●●●</div>											

## HELLO! コレクション ZOZO×千葉県立美術館

I-1-① 多様な主体との協働プロジェクト  
III-1-① 感性を育む鑑賞、体験プログラム

【会期】令和6年4月6日-5月19日

地元企業である㈱ZOZOと千葉県立美術館、それぞれのコレクションを代表する作品を展示。

作家本人が手掛けるワークショップは多くの子どもたちが参加し、県民との交流により作家本人の刺激にもつながった。

ZOZOが県美コラボグッズを販売、ZOZO本社にあるカフェ等とのスタン



## コレクション展1 50年のあゆみ

I-4-① コレクション紹介

【会期】令和6年5月28日-6月30日

県立美術館の50年間に及びコレクション形成のあゆみを紹介。



## 特別展 PROJECT UMINOUE 五十嵐靖晃 海風

I-1-① 多様な主体との協働プロジェクト  
I-1-② 野外空間を活用したアート創出  
III-1-② 千葉みなと地域の連携

【会期】令和6年7月13日-9月8日

千葉県出身の作家・五十嵐靖晃が手掛ける千葉みなとエリアを舞台とした回遊型展覧会。

ボランティアサポーター「海風クルー」とともに作品制作・展覧会準備にあたった他、地元小学校への出張授業等でも作品を制作。

近隣施設ではクルーズ船の割引やオリジナルカクテル「海風」などのコラボ企画も実施。



## ドイツとの文化交流事業 アーティスト派遣

【期間】令和6年 9月18日-11月18日

県ゆかりのアーティストをドイツ・デュッセルドルフ市へ派遣し滞在制作を実施。



## 特別展 浅井忠、あちこちに行く ーむすばれる人、つながる時代ー

I-4-① コレクション紹介  
I-4-② デジタル技術の活用、デジタルアーカイブ化

【会期】令和6年10月30日-令和7年1月19日

県立美術館のコレクションの中心である浅井忠の作品と、浅井の日記・書簡などを関連付けて紹介することで、その人物像に迫る。

浅井の日記をデジタルアーカイブ化して公開。「デジタルアーカイブ・浅井忠の日記(仮称)」を配信することで、浅井の業績を継続的に紹介する。



新規収蔵作品を初公開

## 開館50周年記念式典

【日時】令和6年11月4日

- 記念座談会 [知事×青柳座長×館長]
- ウェルカムパフォーマンス [安藤巴氏(アーティスト・フォローアップ事業対象) ×幕張総合高校ダンス部]
- 新ロゴグッズ ●記念切手・記念品
- 内覧会 ●『コレクション100選』刊行
- 『県立美術館ブランドブック』刊行 など



※イメージ

## コレクション展2 千葉県立美術館100選

I-4-① コレクション紹介

【会期】令和7年1月28日-4月13日

学芸員が選んだイチオシ作品100点の解説付き作品集『千葉県立美術館コレクション100選』の刊行を記念して、作品集に載せた作品を一挙に紹介。



## 開館50周年記念講演会 「アートのはじまり」

【日時】令和7年2月22日・3月2日

## ドイツとの文化交流事業 派遣アーティスト成果展

【日時】令和7年2月27日-3月16日



○開館50周年記念事業

- ・開館50周年記念式典の開催 : 令和6年11月4日
- ・開館50周年記念講演会「アートをのはじまり」: 令和7年2月22日・3月2日
- ・「県立美術館ブランドブック」の刊行
- ・「コレクション100選」刊行

○展覧会



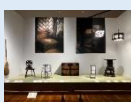








- ・特別展「PROJECT UMINOUE 五十嵐靖晃 海風」: 令和6年7月13日－9月8日
- ・特別展「浅井忠、あちこちに行くーむすばれる人、つながる時代ー」  
: 令和6年10月30日－令和7年1月19日
- ・「HELLO！コレクション ZOZO×千葉県立美術館」: 令和6年4月6日－5月19日
- ・コレクション展1 「50年のあゆみ」: 令和6年5月28日－6月30日
- ・コレクション展2 「千葉県立美術館100選」: 令和7年1月28日－4月13日
- ・第48回千葉県移動美術館(多古町): 令和6年9月15日－10月8日

○ドイツとの文化交流事業

- ・ドイツ(デュッセルドルフ市)へアーティスト(花澤武夫氏)を派遣  
: 令和6年9月18日－11月18日
- ・派遣アーティスト成果展の実施 : 令和7年2月27日－3月16日



# 千葉県立美術館 令和7年度展示計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<div>コレクション展2 千葉県立美術館 100選</div> <div>1月28日 ～4月13日</div> <div>I-4-① コレクション紹介</div> <div>美術館の代表 作品 100点 を一挙 に紹介 する展 覧会。</div>	<div>民藝 MINGEI 美は暮らしのなかにある 令和7年4月22日(火)～6月29日(日)</div> <div>I-1-③他分野とアートの融合 III-1-①想像力を育み感性を刺激する鑑賞、体験</div> <div>●「衣・食・住」をテーマに、様々な時代や地域の日々の暮らしを支えた国内外の作品約150件を展示し、優れた民藝を紹介。</div> <div>●千葉県我孫子市から始まった「民藝運動」の歴史に絡めたコレクション等も紹介し、県の歴史への理解を深めてもらう。</div> <div>●民藝品の販売を大規模に展開し、鑑賞体験を自宅にも持ち帰り、アートを生活の中で感じるきっかけとしてもらう。</div> <div>●コレクション関連展示 民藝運動前夜ー我孫子時代の柳宗悦と白樺派</div> <div></div>		<div>没後50年 高島野十郎 令和7年7月18日(金)～9月28日(日)</div> <div>I-4-①コレクション紹介 III-1-①想像力を育み感性を刺激する鑑賞、体験</div> <div>●晩年を柏市で過ごし野田市でその生涯を閉じた高島野十郎の過去最大規模の回顧展で、当館を皮切りに、巡回展を開始するもの。</div> <div>●人気の「月」をテーマにした作品をはじめ150点あまりで構成。書簡や日記などから高島の人間像にも迫り、その画業や芸術観の背景を読み解く。</div> <div>●本展に関連したコレクションで紹介する。</div> <div></div>		<div>第74回 千葉県展</div> <div>【前期】 10月11日～10月19日 (日本画・彫刻・書道)</div> <div>【後期】 10月23日～11月3日 (洋画・工芸)</div>	<div>オランダ×千葉 撮る、物語るー サラ・ファン・ライ&amp;ダヴィット・ファン・デル・レーウ×清水裕貴 令和7年11月15日(土)～令和8年1月18日(日)</div> <div>I-2-①デジタル技術を活用した体験 I-4-①コレクション紹介</div> <div>●都市のストリートやルイ・ヴィトンなどの仕事で注目されるオランダ人若手写真家、サラ・ファン・ライ等の作品展で、県立美術館では初の写真展。</div> <div>●アーティスト本人によるトークイベントなどを開催(予定)。</div> <div>●美術館のコレクションからガラス工芸作品や現代美術を中心に紹介する関連展示を開催。</div> <div></div>		<div>鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花 令和8年1月27日(火)～4月5日(日)</div> <div>I-4-①コレクション紹介 I-4-②アーティストの顔</div> <div>●千葉市を拠点に活動を続ける神谷は、身近にある植物を題材にした彩り豊かな陶芸表現を得意とする。</div> <div>●美術館のコレクションから、神谷がモチーフとする植物に関連する絵画作品を展示。</div> <div>●コレクション関連展</div> <div></div>			
<div>コレクション・ハイライト 6月11日～7月13日 (新規)</div> <div>I-4-①コレクション紹介 III-1-①想像力を育み感性を刺激する鑑賞、体験</div> <div>●コレクション展示コーナーのスポット導入</div> <div>●アンケートを実施し、今後の常設展示に向けた県民の意向を問う。</div> <div></div>		<div>第49回 千葉県移動美術館 (成田市) 9月20日～ 10月13日</div> <div>I-4-①コレクション紹介 II-3-②県内各地域との連携</div> <div>●美術館の所蔵作品を成田市文化芸術センターに運び開催する展覧会。</div>		<div>【ドイツからの アーティスト受入れ】 10月22日～12月21日</div> <div>I-1-④国内外のアーティストとの交流 II-2-③アートを媒介としたコミュニケーション III-2-①滞在制作プログラム</div> <div>●デュッセルドルフからアーティストを受け入れ、千葉県内で滞在制作を行うとともに成果展を実施。</div> <div>●アーティスト・トークやワークショップ等を美術館で開催し、地域住民との交流の場を設ける。</div> <div>●アーティスト・フォローアップ関係のアーティストや県内で活動するアーティストとの交流の場の創出に協力してもらう。</div> <div>アーティスト交換成果作品発表 12月2日 ～14日</div>		<div>うみのもりの 玉手箱 5 (障害者アート) 1月20日～ 2月1日</div>	<div>アーティスト・フォローアップ事業 成果展 3月9日～22日</div>				

# 千葉県立美術館 令和7年度主要事業計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
展示関連事業											
千葉県立美術館 100選	民藝 MINGEI 美は暮らしのなかにある ●講演会「暮らしのなかの民藝」 ●トークイベント「MOGI Folk Art ディレクターに聞く、豊かな暮らしの作り方」 ●学芸員によるギャラリートーク ●常設ワークショップ		没後50年 高島野十郎 ●記念講演会 ●ナイト・ギャラリートーク ●館長によるファミリーツアー ●学芸員によるギャラリートーク ●常設ワークショップ ●ミュージアム・バス試験導入（柏市教育委員会） ●満月夏まつり（新規）			第74回 千葉県展	撮る、物語る ●アーティスト・トーク（オンライン） ●写真関連ワークショップ ●常設ワークショップ ●学芸員によるギャラリートーク ●MUMA(ミュージアムマーケット)開催		神谷紀雄陶展 ●アーティスト・トーク ●陶芸関連ワークショップ ●常設ワークショップ ●学芸員によるギャラリートーク		
		コレクション・ハイライト ●学芸員によるギャラリートーク			移動美術館 ●学芸員によるギャラリートーク ●館長による講演会	【ドイツからのアーティスト受入れ】 ●アーティスト・トーク ●ワークショップ ●オープンスタジオ		うみのもりの玉手箱 5	アーティスト・フォローアップ事業 成果展		
館主催事業											
			●ぐるぐる？アート夏やすみ（新規）	・アトリエ棟を開放し、小中高生らが創作できる場を創出 ・アーティストやボランティアが参加し、小中高生と交流・アドバイス							
			●ぐるぐる？コドモアートフェス（新規）7月19日								
●建物探検ツアーに係る調査、ミュージアム・サポーターの研修			●建物探検ツアー（新規）（試行スタート）								
●学校団体プログラムの実施											
●ミュージアム・サポーター説明会			●大学生サポーターの募集（継続的に）								
●ミュージアム・サポーターによるトーク&ガイドの研修等			●ミュージアム・サポーターによるトーク&ガイド（新規）（試行スタート）								
					●ミュージアム・バス事業（新規）						
地域連携事業											
		●タリーズとの連携（新規） ●中学生職場体 ●県民の日イベント ちばみんフェス2025（香取市）出展	●夏休みイベント（ZOZO）（新規） ●インターンシップ ●ティーチャーズ・プログラム ●ミュージアムコンサート（高校吹奏楽部）	●さんばしまつり ●博物館実習 ●幕張総合高校美術館講座		●千葉みなと大漁まつり ●ミュージアムコンサート（ジャズ）	●千夜一夜 ●ミュージアムコンサート（千葉響）	●千葉みなとクリスマスイベント			
●団体展・県民芸術祭関連展示、千葉県高等学校総合文化祭											
情報発信											
●プレスリリース、Instagram、X等での情報発信（通年）、ポスター掲示（通年）					●ブランドブック（英語版）		●美術館案内・行事案内		●デジタルアーカイブ第2期公開		
	●年報		●美術館案内（英語版）								

## ○展覧会

- ・「民藝 MINGEI 美は暮らしのなかにある」: 令和7年4月22日－6月29日
- ・「没後50年 高島野十郎」展 : 令和7年7月18日－9月28日
- ・「オランダ×千葉 撮る、語るー  
サラ・ファン・ライ&ダヴィット・ファン・デル・レーウ×清水裕貴」  
: 令和7年11月15日－令和8年1月18日
- ・「鉄絵銅彩 神谷紀雄陶展 春風陶花」: 令和8年1月27日－4月5日
- ・「コレクションハイライト」: 令和7年6月11日－7月13日
- ・第49回千葉県移動美術館(成田市で開催予定): 令和7年9月20日－10月13日

## ○主催事業

- ・「ぐるぐる？アート夏休み」(アトリエ開放、アーティスト、ボランティアが小中高校と交流)  
: 令和7年7月19日－8月31日
- ・「ミュージアム・サポーターによるトーク&ガイド」
- ・「建物探検ツアー」(美術館が国の登録有形文化財(建造物)に登録)
- ・「ミュージアム・バス事業」(県内の小中学校を美術館に招き入れる。9月11日第1回実施予定)

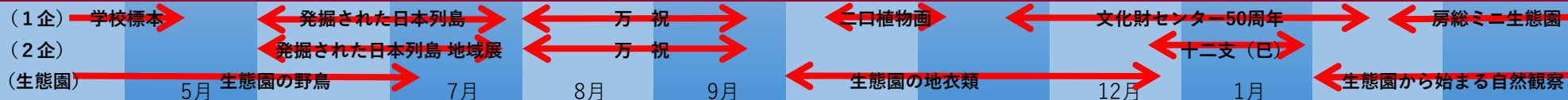
## ○ドイツとの文化交流事業

- ・ドイツ(デュッセルドルフ市)からのアーティスト受入れ: 令和7年10月22日－12月21日
- ・アーティスト交換成果作品発表: 令和7年12月2日－12月14日

(日程は事情により変更する場合があります。)

# 千葉県立中央博物館

# 千葉県立中央博物館 令和6年度 展示事業



他機関と連携し最新情報を伝える展 | 千葉の海の魅力を紹介する展示 | 収蔵資料を紹介する展示 | 研究員の研究成果を紹介する展示

一般入館料 600円 | 一般入館料 800円 | 一般入 館料 300円 | 一般入館料 300円

## 文化庁合同特別展示 発掘された日本列島2024

**会期：**令和6年6/8～7/15

**内容：**近年注目された出土品を全国巡回する文化庁主催の速報展です。同時開催する千葉県の地域展では、令和3年に寄贈された千葉県指定有形文化財の大多喜町台古墳出土「半円方格帯神獣鏡」を展示します。戦後初の公開となります。



▲大多喜町台古墳出土「半円方格帯神獣鏡」  
(千葉県指定有形文化財)

**生態園トピックス展**

- ・生態園の地衣類
- ・春の展示連携展示

生態園からはじめる房総の自然観察

## 特別展 万祝博覧会 ～海をまとう～

**会期：**令和6年7/27～9/29

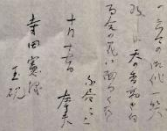
**内容：**大漁の祝として網元から漁師に配られた晴れ着、万祝。その文化は房総半島で発祥し、東日本の太平洋沿岸地域に広がったとされています。千葉の漁労文化の象徴ともいえる万祝について、歴史的な背景やデザインに至るまで様々な視点から紹介します。



▲万祝 館山市立博物館蔵

## トピックス展 10/19～11/17 近代文学を支えた 寺田憲とその周辺

**内容：**神崎町の醸造業、寺田本家の20代当主であった寺田憲は、明治から昭和初期にかけて多くの文人達と交流し財政・精神の両面で彼らを支えました。伊藤左千夫や長塚節らが憲に宛てた書簡から房総の近代文学史がうかがえます。



▲伊藤左千夫書簡

## トピックス展 2/1～3/16 発見された江戸時代の小絵馬 ～小絵馬の習俗～

**内容：**、今から8年前、富津市三柱神社の修復中、こけら葺きの屋根材に混じって色鮮やかな小絵馬が多数発見されました。江戸時代中期のものもあり大変珍しいものです。初公開となるこの小絵馬群を中心に、房総・関東の小絵馬を集めて比較し習俗の変遷を探ります。



▲三柱神社屋根材小絵馬 (1715)

## 秋の展示 二口善雄 植物画展

**会期：**令和6年10/12～11/24

**内容：**当館所蔵の『ばら花譜』、文部省理科図集等の原画は3,250点を数え、日本の植物画家の草分けである二口善雄最大のコレクション。鎌ヶ谷市在住だった氏が生前、当館にバラの研究者がいることを知り、寄贈されました。植物画を描く人なら誰もが一度は見たいと思い、初めて見る人にも植物への関心を強く抱かせる作品群です。



『ばら花譜』原画  
タカネバラ (二口善雄 昭和51年)

## トピックス展 十二支にちなんで 一巳年—

**会期：**令和6年12/24  
令和7年1/26

ヘビが描かれた  
マッチラベル ▶



## 春の展示 房総のミニチュア『生態園』 ～日本初のエコロジー・パークの35年～

**会期：**令和7年2/22～6/8

**内容：**国の畜産試験場の跡地に房総の代表的な木や草を植え、一から生態系を造った生態園。都市の中に造られた自然は35年でどのように変化してきたのでしょうか。この森を造り、その変化を人知れず調べ続ける研究員たちの、時に地道、時にユニークな活動にスポットを当てて紹介します。生態園トピックス展を同時開催します。



▲生態園での調査風景 (野鳥調査)

▲生態園での調査風景 (昆虫調査)

## トピックス展 地中からのメッセージ ～旧石器・縄文・弥生～ ～公益財団法人千葉県教育振興財団 設立50周年記念展 part1～

**会期：**令和6年12/21  
令和7年2/9

**内容：**設立50周年を迎えた教育振興財団(文化財センター)が発掘した選りすぐりの考古資料を展示します。



## R6年度入館者数 ※ () はR5年度

本館	98,277 (98,746)
大利根	-
大多喜城	45,185 (39,550)
海の博物館	78,630 (60,118)

## 生態園35周年

国の畜産試験場の跡地に房総の代表的な木や草を植え、一から生態系を造った生態園。35年の変化や研究員の活動を紹介する展示を実施。関連展示として生態園トピックス展開催(R6)、研究報告特別号発行(R5年度)。

## 春の展示 房総のミニチュア『生態園』 ～日本初のエコロジー・パークの35年～

会期：令和7年2月22日～6月8日 (107日間 うちR6年度は32日間)  
来場者数：6,725人 (2月22日～3月31日)  
関連行事 (R6年度)：

- 観察会 (舟田池、野鳥、春の生物、地衣類 計56人)
- 自然誌シンポジウム  
「都市の中につくられた自然「生態園」のこれまでとこれから」 57人
- ミュージアムトーク (展示解説) 2回66人
- 生態園トーク 2回15人

## 特別展 万祝博覧会 ～海をまとう～



会期：令和6年7月27日～9月29日 (65日間)

来場者数：12,990人

関連行事：

- オープニングセレモニー 75人
- 万祝シンポジウム「色々な万祝、これからの万祝」 40人
- 講演会「未来につなぐ工芸品～後継者育成の今と未来～」  
※県立図書館連携事業 30人
- 体験イベント (万祝を着てみよう、萬祝染体験、万祝柄の暑中見舞いはがきづくり、藍の生葉染め体験、木綿と真綿 (糸を取る体験)、フィギュアづくり、万祝レプリカ型紙でプリント体験、絵本読み聞かせ 計423人)
- 白浜海洋美術館の万祝コレクション見学会 3人
- ミュージアムトーク (展示解説) 会期中の土日22回 237人



森林移植地工事 (1988年)



展示室



オープニングセレモニーの  
万祝ファッションショー



展示室

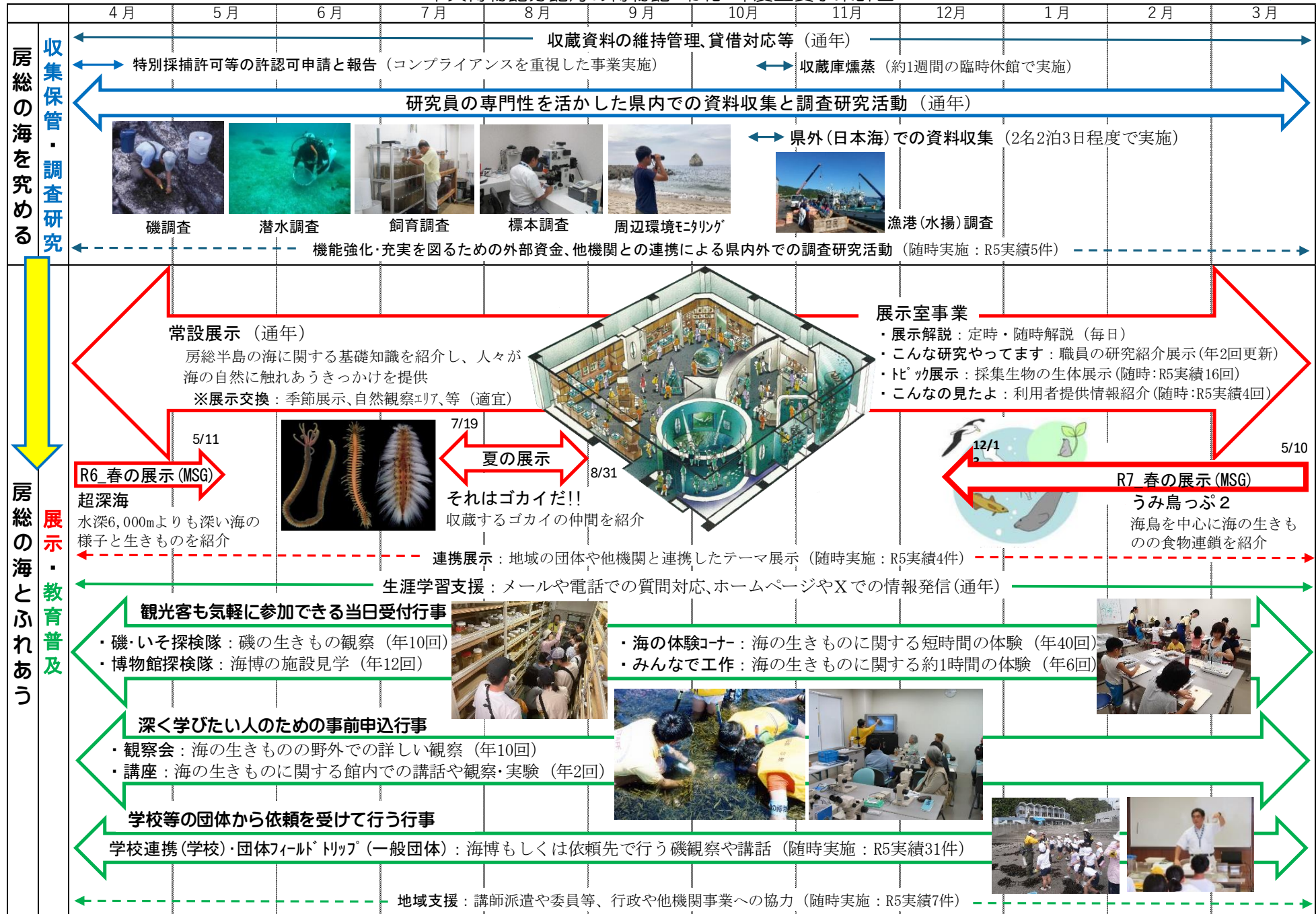
## 千葉県立中央博物館 令和7年度 展示計画

11



# 千葉県立中央博物館 令和7年度普及関連事業計画（主要事業）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
展示事業：特別展・季節展等											
春の展示「房総のミニチュア『生態園』」2/22～6/8			特別展「房総うみの幸 大百科～千葉の豊かな海と食文化～」7/12～9/23			秋の展示「水辺の昆虫」10/18～12/21			春の展示「生業－自然からの恵み－」3/14～6/15		
トピックス展「生誕150周年記念 民俗学の父 柳田國男」4/15～6/15			 						トピックス展「式年神幸祭記念 香取神宮展」3/14～5/31		
トピックス展「十二支にちなんで一年年」12/16～1/25											
教育普及事業：講座・観察会等											
		講座・観察会の実施		(学芸員の専門や展示会にあわせた子どもから大人まで楽しめる講座や観察会を年間100回以上開催)							
		講師派遣による出張講座		(小・中学校や公民館等の依頼により、授業内容や希望に応じた専門家を派遣し実施)							
学校連携事業：学習キット貸出、講師派遣、職場体験学習等											
職場体験学習 6月～11月											
インターンシップ 7月～9月											
博物館実習 8月											
教員のための博物館研修 7月～8月											
 											
(学習キット貸出、講師派遣による講座など、年間を通して活動を展開。インターンシップ・職場体験学習・博物館実習・教員のための博物館利用研修など学校・大学と連携した教育カリキュラムにも対応)											
地域連携事業：イベント・巡回展示・講座等											
小絵馬の世界巡回展 3月～		イオンモール イベント出展 6月		アリオ博 5月～(年6回 奇数月)		自然誌フェスタ 11月		千葉学講座 12月			
県内図書館連携		商業施設連携						市民団体等連携		県立博物館連携	
(地域の多様な主体と連携し多彩な教育活動を展開、地域の活性化に貢献する。各種イベントへの出展、講師派遣、巡回展示、国立歴史民俗博物館との包括連携協定による事業、千葉県博物館協会の事業等、年間を通して活動を展開)											
フィールドミュージアム											
			(清和小学校を拠点とした教室博物館・観察会、大利根分館を拠点とした観察会、講師派遣による野外観察会、生態園を活用した観察会など、年間を通して活動を展開)								





## 重点事業：千葉の海の魅力を探り、国内外に発信



### 令和7年度特別展

#### 「房総のうみの幸 大百科～千葉の豊かな海と食文化～」

■ 会期：令和7年7月12日（土）～9月23日（火・祝）（74日間）

#### ■ 関連行事

- 7月12日 オープニングセレモニー
- 7月26日 講演会「東京湾とお寿司」※県立中央図書館連携
- 8月1日 さかなクントークショー
- 8月16日 講演会「千葉県ぐるり海の生物と食べ物」
- 8月23日 房総うみの幸グルメフェス
- 9月13日 千葉県水産総合研究センター一般公開
- ミュージアムトーク（展示解説） 会期中毎週土曜日
- 観察会・講座 古代房総の伝承をよみとく・磯の観察会（荒天中止）・にぼしで学ぶ魚のひみつ・貝の解剖観察
- 体験イベント 缶バッジづくり・貝合わせ・大漁旗づくり・（紙の）魚釣り 他

来場者数の伸びも好調

数々のイベントで多くの方に海の魅力を発信



7/12オープニングイベント

## 重点事業：他機関との連携強化

### アリオ博 奇数月の第3土曜日

中央博物館の事業を広報し、新規顧客層を開拓するため、大型商業施設「アリオ蘇我」との合同事業を通年で開催する（奇数月の第3土曜日）。博物館で開催中の特別展示・企画展示に合わせたテーマで、クイズ大会、ワークショップ等を実施。

主催：千葉県立中央博物館／アリオ蘇我  
会場：アリオ蘇我アリオモールサンコート広場



7月開催。特別展に合わせた「海の幸クイズ」「大漁旗づくり」

### あおばminiminiまつり

地域住民への博物館の認知向上、特別展の周知のため、中央博物館の立地する青葉の森公園でのイベントへの出展を行った（開催日：6月7日）。特別展に合わせて海の幸の缶バッジづくり、貝やかニなど海の生物のハンズオン展示を実施。



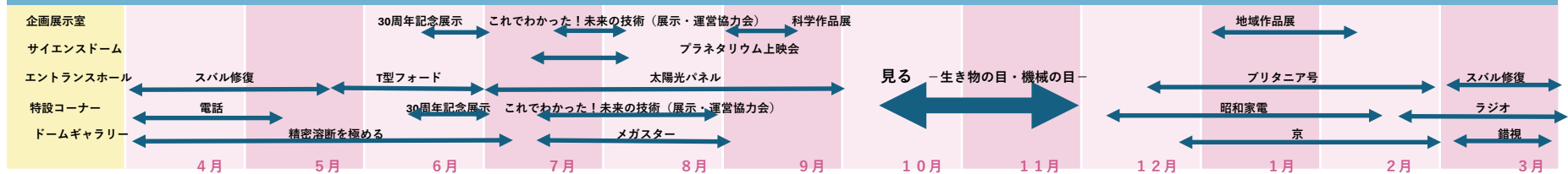
### 歴博×中央博スタンプラリー

千葉県と国立歴史民俗博物館（佐倉市）は、令和6年4月に包括連携協定を締結し、連携して博物館活動の推進等を図っている。その一環として、「船」を共通テーマとしたスタンプラリーを実施（8月1日～9月28日）。両館を巡るともらえる景品も。重点事業「千葉の海の魅力を探り、国内外に発信」とも関連し、「船」をテーマに、それぞれの博物館が所蔵する船に関する資料をテーマとしたスタンプラリーとした。



# 千葉県立現代産業科学館

# 千葉県立現代産業科学館 令和6年度展示事業



## ●【開館30周年記念イベント】 6月14日～6月30日

### 【展示型】

- 30周年記念展示
- 企画展「見る」プレ展示
- 産業関連資料展示

### 【参加型】

- T型フォード記念撮影会
- 2階展示室特別解説ツアー
- 科学館わくわく教室
- ペッパーによる受付
- たんけん！！科学館
- スーパーサイエンスステージ
- フォトスポット
- ブロックプールを設置したキッズスペース
- 市川市生涯学習センター内こどもとしょかん職員による絵本の読み聞かせ

### 【その他】

- ノベルティ配付



## ●【プラネタリウム上映会】8月9日～8月29日

- ・プラネタリウム・クリエーター  
大平貴之氏が制作したオリジナル作品を、千葉ならではの風景とともに、星空や宇宙を高精細画像で上映します。
- ・最新式の投影機及びプログラムを県民に提供するとともに、解説会を2回実施します。
- ・県が推進する産業教育や職業教育の一環として、大平貴之氏がプラネタリウム開発の苦労や喜びについて、中高生と直接対話する「産業キャリアイメージ形成事業」も併せて開催します。



## ●【これでわかった！未来の技術】

8月10日～8月25日

現代産業科学館を支える「展示・運営協力会」に所属する各分野を代表する県内外の企業や団体等が、展示会やサイエンスショー、実験・工作教室などを通じて、最先端の科学技術を楽しくわかりやすく紹介します。



## ●令和6年度企画展 「見る 一生き物の目・機械の目一」 10月12日～12月1日

人間はどのようなシステムでもものを見ているのか、昆虫も同じ見え方をしているのかなど、「見る」ことに関する科学をはじめ、目の動きで入力するタブレットや災害救助ドローンなどの「見る」ことに関連した産業技術を紹介します。

開館30周年記念として、「科学」と「技術」が詰まった現代産業科学館らしい展示です。錯覚作品を自分で作るイベントや、生涯学習センター、ニッケルトンプラザと連携したイベントも開催します。



## ●ドームギャラリー

スーパーコンピュータ「京」やプリウスエンジン展示など、気軽に科学や技術に触れられる無料の展示スペース。



## ●企画展示室

企画展の他に地元工業高校の卒業制作展など、地域のために活用。



## ●エントランスホール

「伝えたい千葉の産業技術100選」や館の屋根に設置されている太陽光パネルの説明のほか、収蔵資料や借用資料などを随時更新する、見学する前の導入となる展示。



## ●特設コーナー

ラジオや電話機など歴史ある収蔵資料や、企画展関連資料等の展示。





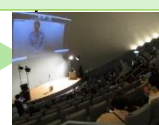





## ●ワークショップ

スバル360分解展示



# 千葉県立現代産業科学館 令和6年度普及関連事業計画 (主要事業)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画展：プラネタリウム上映会等											
	開館30周年記念事業 6月 プラネタリウム機材設営・調整	展示・運営協力会 関連事業 7～9月	プラネタリウム上映会 8月	機材撤収	R6年度企画展 見るー生き物の目・機械の目ー						
教育普及事業：各種講座・工作教室・イベント等											
	科学館わくわく教室（「プログラミングをたのしもう(MESH)」他、12種類のバラエティーに富んだ内容の工作教室を年間20回以上開催）										
	出張講座（小・中学校等の依頼により児童・生徒又はその指導者を対象として、科学及び工作教室を館外で実施）	R6年度 出張先：我孫子、野田、流山、柏、松戸、鎌ヶ谷、八千代、浦安、市川、船橋、習志野、千葉、市原、大網白里、茂原、白子						クリスマスコンサート 12月	クラシックカー・スポーツカー in 科学館 3月		
キャリアイメージ形成支援事業：企業見学会・出張授業・企業による講座等											
産業学習in科学館 5月（モノベエンジニアリング）	（企業担当者による技術説明、動画による企業見学）			産業キャリアイメージ形成事業	（企業の技術者による解説。ものづくりへの興味を促進する工作や企業見学会）			産業学習in科学館 2月（KDDI）			
地域連携事業：イベント・工作教室・展示・コンサート等											
	千葉県産フェア 6月 イオンモール津田沼					東葉車両基地祭 10月 東葉高速鉄道	八千代市黒沢地のたたら祭 11月 八千代市商工観光課	いちかわ産フェスタ 3月 市川商工会議所連携			
おにたがとらい（隣接する三者が連携し多彩な教育活動を展開、地域の活性化、「学び・遊び・癒し」の共存するONLY ONEの地区とすることを旨とする。工作教室・イベント・読み聞かせの会・関連展示・展示販売・広報協力等、年間を通して開催）											
学校連携事業											
	木更津高専サイエンススクエア 7月				市川市児童生徒科学作品展 9月		市川工業高校インテリアデザイン部Xmas・正月装飾 市川工業高校他Xmas合同ライブ	市川工業高校ID部卒展・発表会 2月			
県教委・市教委・教育事務所・NPO・その他との連携											
ふれんどルーム市川工作教室など（年間） 市川市適応指導教室連携	親子バイオ 7月 土器ッと古代“宅配便” 7月 教員のための博物館の日 7月 夢チャレンジスクール 7月	くらしとバイオ21連携 教育庁文化財課連携 国立科学博物館 教育庁生涯学習課連携	ちば子ども大学公開講座 9月・11月 さわやか県民プラザ連携	キッチンサイエンス 10月 くらしとバイオ21連携	五市合同技術家庭科作品展 1月 船橋市・市川市・浦安市・習志野市・八千代市教育連携						



## ●【開館30周年記念イベント】

6月14日～6月30日

現代産業科学館が令和6年6月15日に開館してから30周年を記念することを記念して、県民や関係機関、展示協力者とこれまでの歩みを展示や収蔵資料等と振り返るとともに、多くの来館者が楽しめるイベントを開催した。あわせて秋に開催する令和6年度企画展「見る」のプレ展示を行い、展示のテーマについて広く知ってもらう機会とした。(入場者8,003人)

### 記念イベント

- ・T型フォード記念撮影会  
6/22,23実施 参加者813人
- ・2階展示室特別解説ツアー  
6/22,23 参加者19人
- ・科学館わくわく教室  
6/22,23 参加者243人
- ・たんけん!科学館  
6/22,23 参加者241人
- ・スーパーサイエンスステージ  
6/23 参加121人
- ・絵本の読み聞かせ  
6/23 参加者33人
- ・巨大カプセルトイ (スタンプラリー)  
6/22,23 参加者のべ800人

※コルトンプラザ、市川中央図書館との連携事業



## ●【令和6年度企画展】

「見る一生き物の目・機械の目」

10月12日～12月1日

今回の企画展では、様々な条件での人の見え方や人以外の生き物の見え方のほか、電子顕微鏡・高速度カメラなど、人の目では見ることのできない機械の視覚技術にも焦点を充てた。また、人の目と機械・AIが共に共存し、認識する新たな見せ方を取り上げることで、子供から大人まで、誰もが見る世界の多様性や奥深さについて楽しく学び、理解を深めるきっかけとなるよう工夫した。

(入場者12,967人)

### 展示構成

- ①立体錯視を見る
- ②生き物の目 多様な生き物の優れた「見る」能力を紹介
- ③機械の目 光学顕微鏡 電子顕微鏡 高速度カメラ フローティングタッチディスプレイを紹介
- ④未来の目 人と機械とAIが視覚を共有するシステム 3Dホログラム VR技術を紹介

### 関連イベント

- ①目不自由な人の見え方を体験しよう 参加者19人
- ②読み聞かせ 「見るっていろいろ」 参加者27人
- ③タカラガイの中を覗いてみよう 参加者70人
- ④ふしぎ体験!立体アートの世界 参加者27人
- ⑤講演会 「生活の中の錯視」 参観者107人  
講師: 明治大学特別研究教授 杉原厚吉氏
- ⑥スーパースローで見てみよう 参加者614人

## ●【プラネタリウム上映会】

8月9日～8月29日

千葉の星めぐり-150年の歩みとこれから-「星のある風景-旅-」、「Ancient Stars」を上映した。期間中、16日(金)は台風接近のため休館、また、17日(土)と18日(日)には、大平貴之氏による上映解説会を午前・午後1回ずつを予定していたが、台風の影響により、17日の午前中は中止となった。

(入場者数12,108人)

## ●【産業キャリアイメージ形成支援事業】

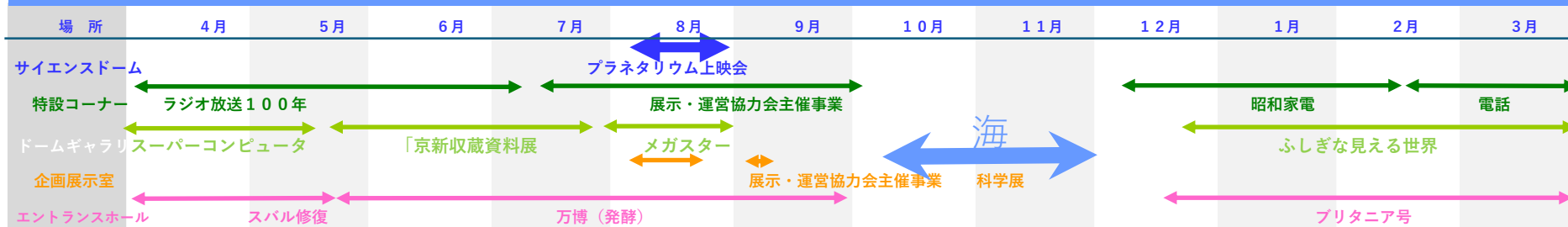
展示・運営協力会との連携など当館の強みを生かし、よりリアルな産業教育・職業教育を展開している。令和6年度は、当館でプラネタリウムを上映している大平技研の大平貴之氏と中高生の対話やプログラミング体験などのワークショップ、ソフトバンク(株)への企業見学を行った。

### 【大平貴之氏との対話参加者】

学校法人市川学園市川中学校(11人)・高等学校(2人)  
昭和学院秀英中学校(19人)・高等学校(1人)



# 千葉県立現代産業科学館 令和7年度展示計画



## ●「プラネタリウム上映会」8月8日～8月28日

令和7年度は新作の上映を予定しています。解説会を2回実施することで話題性や理解を高め、集客の増加を図ります。プラネタリウムクリエイター大平貴之氏がオリジナル作品の制作及び上映をおこない、大スクリーンに映し出される星空や宇宙を上映します。



## ●「展示・運営協会主催事業」【企画展示室】 8月9日～8月24日

現代産業科学館を支える「展示・運営協会」に所属する各分野を代表する県内外の企業や団体等が、展示会やサイエンスショー、実験・工作教室などを通じて、最先端の科学技術を楽しくわかりやすく紹介します。



## ●令和7年度企画展 「うみ・千葉めぐり～魅力あふれる海の仕事～」 10月11日～11月30日

三方を海に囲まれた千葉県にとって、海は大変重要な存在です。我々がどのように海と関わってきたのかを、職業・技術・安全・学び・楽しむなど様々な視点で見直す機会を提供します。そして海の重要性の理解促進を目指し、郷土への理解と愛着を深めることを目指します。漁業の今昔、千葉港の工場の様子や物流業を扱うとともに、海にまつわる様々な環境や安全に着目した、海上自衛隊や海上保安庁、防災についても扱います。また、海と関わりを持つきっかけとして、県内の海洋系学科を設置する県立高校の取り組みや、東京五輪のサーフィン会場ともなった一宮町で活動するサーフボード職人の技術を紹介します。



## ●スーパーコンピュータ「京」

役目を終え、当館に寄贈されたスーパーコンピュータ「京」の能力や性能、成果などの魅力を紹介。



## ●万博とちば

大阪万博開催に合わせ、千葉県の出展テーマ「発酵」に連携した展示を行う。

万博



## ●蒸気機関車「ブリタニア号」

ブリティッシュ・レイルウェイズ社によって設計され、テンダー式旅客用蒸気機関車として製造された『ブリタニア号』（1/16 模型）の展示を行う。



## ●ラジオ-2025年3月22日は ラジオ100歳の誕生日-

収蔵する国内外の放送黎明期のラジオを展示し、ラジオ技術の進歩・歴史について紹介する。



## ●スバル360分解

自動車に使われている「ねじ」に着目し、スバル360の各所で使われている「ねじ」の紹介。




## ●昭和家電

昭和30年代以降の家電の発展とその背景に焦点を当て、昭和時代の家庭の暮らしや生活の変化を紹介。



# 千葉県立現代産業科学館 令和7年度普及関連事業計画 (主要事業)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画展：プラネタリウム上映会等											
	展示・運営協力会 関連事業7～9月 プラネタリウム機材設営・調整			プラネタリウム上映会 8月		R7年度企画展 うみ・千葉めぐり 一魅力あふれる海の仕事を					
教育普及事業：各種講座・工作教室・イベント等											
	科学館わくわく教室（「プログラミングをたのしもう(MESH)」他 12種類のバラエティーに富んだ内容の工作教室を年間20回以上開催）										
出張講座（小・中学校等の依頼により児童・生徒又はその指導者を対象として、科学及び工作教室を館外で実施）								クリスマスコンサート 12月		クラシックカー・スポーツカーin科学館 3月	
R6年度 出張先：我孫子、野田、流山、柏、松戸、鎌ヶ谷、八千代、浦安、市川、船橋、習志野、千葉、市原、大網白里、茂原、白子											
キャリアイメージ形成支援事業：企業見学会・出張授業・企業による講座 等											
産業学習in科学館 5月（HANAP） （企業担当者による技術説明、動画による企業見学）			産業キャリアイメージ形成事業 （企業の技術者による解説。ものづくりへの興味を促進する工作や企業見学会）					企業展関連講座		産業学習in科学館 2月	
地域連携事業：イベント・工作教室・展示・コンサート等											
	千葉県産フェア 6月 イオンモール津田沼		おにたかとらい （隣接する三者が連携し多彩な教育活動を展開、地域の活性化、「学び・遊び・癒し」の共存するONLY ONEの地区となることを目指す。工作教室・イベント・読み聞かせの会・関連展示・展示販売・広報協力等、年間を通して開催）		東葉車両基地祭 10月 東葉高速鉄道		八千代市黒沢地のたたら祭 11月 八千代市商工観光課		いちかわ産フェスタ 3月 市川商工会議所連携		
学校連携事業											
		木更津高専サイエンススクエア 7月		市川市児童生徒科学作品展 9月				市川工業高校インテリア科Xmas・正月装飾 市川工業高校他Xmas合同ライブ		市川工業高校ID部卒展・発表会 2月	
県教委・市教委・教育事務所・NPO・その他との連携											
ふれんどルーム市川 工作教室など（年間） 市川市適応指導教室連携		バイオ実験教室7月 土器ッと古代“宅配便” 7月 教員のための博物館の日7月		くらしとバイオ21連携 教育庁文化財課連携 国立科学博物館		ハッカソン 9月 教育振興部学習指導課		ちば子ども大学公開講座 9月・10月 さわやか県民プラザ連携		五市合同技術家庭科作品展 1月 船橋市・市川市・浦安市・習志野市・八千代市教育連携	
キッチンサイエンス 2月 土器ッと古代“宅配便” 3月											

## ●「プラネタリウム上映会」

8月8日～8月28日

プラネタリウム・クリエイター大平貴之氏が制作したオリジナル作品を、千葉ならではの風景とともに、星空や宇宙を高精細画像で上映。最新式の投影機及びプログラムを県民に提供するとともに、解説会を2回実施した。

今年は、新作「MEGASTARを生んだ星空」を上映することができた。これは「MEGASTAR」の原点となった星空を再現したものである。ほかに「千葉の星めぐり」「星のある風景」を上映した。



## ●令和7年度企画展

「うみ・千葉めぐり～魅力あふれる海の仕事～」

10月11日～11月30日

企画展では、第1～3次産業を通じ、我々がどのように海と関わってきたのかを職業・技術・安全・学び・楽しむなどの様々な視点で紹介する。

### 展示構成

- ①変わっていく漁業
- ②千葉の発展を支える千葉港  
～港で働く～
- ③海と安全
- ④海に親しむ



### 関連イベント

- ①講演会 「東京湾と海の森づくり」  
講師：日本製鉄株式会社 主幹研究員  
吉村 航氏
- ②読み聞かせ「海は広いな大きいな」
- ③ポンポン船をつくろう
- ④海図の紙バッグをつくろう
- ⑤作って学ぼう「イカキャッチャー」！  
～イカは何を食べるのかな？～
- ⑥手旗信号と国際信号旗を体験しよう
- ⑦制服を着て自衛官になってみよう

## ●「展示・運営協力会主催事業」

8月9日～8月24日

現代産業科学館を支える「展示・運営協力会」に所属する各分野を代表する県内外の企業や団体等が、展示会やサイエンスショー、実験・工作教室などを通じて、最先端の科学技術を楽しくわかりやすく紹介した。

展示数 14ブース展開

### 実験・工作教室

- ①色が変わるステンドグラスをつくろう
- ②酸性？アルカリ性？混ぜるとどうなる？
- ③エンジンの仕組みを学んで、かけてみよう
- ④しましま×しましま
- ⑤にじいろに光るランタンをつくろう
- ⑥リサイクルを学ぼう
- ⑦青いミルクが赤くなる！
- ⑧光の不思議を学んで万華鏡をつくろう
- ⑨DNAってなに？

### サイエンスショー

- ①光のマジックショー
- ②目で見る化学反応
- ③鉄は燃えるかな？
- ④ホテルの光とバイオテクノロジー
- ⑤DNAってなに？



## ●産業キャリアイメージ形成支援事業

展示運営協力会との連携など当館の強みを生かし、よりリアルな産業教育・職業教育を展開している。本年度も大平技研の大平貴之氏と中高生の対話を実施した。

そして、また今年度も中学生の企業見学会を計画している。11月7日（金）には、八千代市立睦中学校の生徒が株式会社共同工芸社、株式会社エイブリック、菊川工業株式会社において企業見学を行う。

# 千葉県立関宿城博物館



# 千葉県立関宿城博物館 令和6年度展示事業

## 企画展示

室： 昔の暮らし パネル巡回展 → 利根川の風景Ⅰ・Ⅱ

多目的室： 絵画コンクール → 関宿藩の歴史

集会室： 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

## 周辺の歴史や自然を紹介するパネル展示

## 博物館の調査研究を紹介する企画展

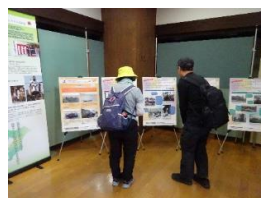
### パネル展

3階の多目的室にて、当館周辺の自然や歴史等を紹介するパネル展を年間3回程度、実施します。令和6年度前半は企画展に因んで利根川関連の展示を行います。9月下旬からの企画展期間中は、関宿藩等について紹介します。

「千葉県誕生150周年記念 写真で見えるちばのあゆみ」パネル巡回展  
4月16日～5月26日  
千葉県150周年を記念し、千葉県の歴史を写真で振り返る展示。



「利根川の風景Ⅰ・Ⅱ」  
Ⅰ 5月28日～7月7日  
Ⅱ 7月9日～9月23日  
利根川の上流から下流の利根川の治水や自然・文化等を紹介する。



パネル巡回展

「関宿藩の歴史」  
9月28日～11月24日  
関宿藩を中心に関宿地域の変遷について紹介する。



利根川の風景

### 企画展

### 「赤松宗旦と利根川図志」

会期：令和6年9月28日～11月24日

内容：当館は「河川とそれにかかわる産業」をメインテーマとし、毎年さまざまな角度から企画展を開催しています。『利根川図志』は、江戸時代末の安政期に下総国布川(現茨城県利根町)在住の開業医、赤松宗旦によって刊行され、利根川という河川をめぐる自然・地理・歴史・伝承などについて、過去の文献と現地の見聞に基づき挿絵付きでまとめた地誌であり、紀行文ともいえるものです。本企画展では、本書について当時の時代背景や、宗旦が刊行にいたるまでの経緯をさぐり、そのうえで『利根川図志』そのものに記された内容を紹介し利根川流域の歴史や文化、郷土への関心を深め、未来につなげることを目的とします。



『利根川図志』



### 普及事業概要

- 講演会(外部講師) 11月3日  
『利根川図志』に関する講演会
- 歴史散歩の実施 10月20日  
展示で紹介した利根川沿いの史跡を訪ねたり自然に触れたりすることで、より関心を深めてもらうとともに、文化観光の一環として、野外散策を実施する。
- ミュージアムトークの実施  
10月19日、10月26日、11月16日
- 子ども向けワークショップ 11月10日  
ワークシート  
クイズ形式で楽しみながら学べる子ども向けワークシートの実施。 期間中 随時

## 収蔵資料展

### トピックス展「むかしの暮らし」

会期：令和7年1月15日～4月13日  
内容：昔なつかしい暮らしに関する民俗資料を中心に、「住む」「食べる」「着る」「働く」「遊ぶ」の五つのテーマに沿って展示し、昭和のころの様子を再現します。また、体験コーナーではペーゴマやコマで遊んだり、下駄を履くなど、当時の暮らしぶりを追体験できるようにします。



過去の展示風景

## 公募展

### 関宿城絵画コンクール作品展

会期：令和6年9月16日～10月6日

内容：関宿城とその周辺を題材とした作品を公募し、優秀作品を表彰するとともに、作品の展示会を行います。



開示時の展示風景

### 第24回関宿城百景写真展示

会期：令和6年11月29日～令和7年1月13日

内容：当館は、利根川・江戸川に囲まれ、自然豊かな田園風景が広がっており絶好の景勝地となっています。四季折々の中で様々な表情を見せる関宿城を題材とした写真作品展を開催します。



過去の展示風景

# 千葉県立関宿城博物館 令和6年度普及関連事業

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画展：「赤松宗旦と利根川図志」											







# 千葉県立関宿城博物館 令和7年度展示計画

(2F企画展示室)

(3F多目的室) 昔の暮らし → パネル展もつと『利根川図志』 → 関宿城博物館30年の歩み → 企画展「関宿城に舞う鷹の羽～下総久世家～」 → 戦国から江戸初期の関宿 → 百景写真展 → 昔の暮らし →

(1F集会室)

(1F展示室)

絵画コンクール

鈴木貫太郎記念館出張パネル展示

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

## 開館30周年事業

## 博物館の調査研究を紹介する企画展

## 周辺の歴史や自然を紹介するパネル展示

## トピックス展

### 【記念式典】

中学生による太鼓ミニ演奏会、高校生やボランティアの協力による謎解きクイズラリーを開催し、地域の方々や来館者とともに開館30周年を祝う。

### 【企画展関連事業】

企画展関連シンポジウム「外から見た関宿藩」、歴史散歩、展示解説会、子ども向けワークショップ、ワークシート

### 【謎解きクイズラリー：チーバくんとかっぴーの関宿探検隊】

企画展や常設展を見学された観光客や子ども達に、実際に関宿周辺の名所旧跡を訪ね、楽しんでもらうため謎解きクイズを実施す



### 企画展

## 「関宿城に舞う鷹の羽～下総久世家～」

会期：令和7年10月4日～11月30日

内容：関宿藩は8つの家、合計23代の藩主によって約280年にわたって治められてきました。その中でも一番長く関宿を治めてきたのが久世家です。開館30周年を迎える年に当たり、この久世家にフォーカスし、これまで詳細に語られてこなかった藩内部の様子を明らかにします。特に家臣団や領地に焦点を当て、藩内統治の組織や産業まで含めたリアルな関宿藩の姿を追いかめます。



正保城絵



『関宿村々絵図』



『久世家御家訓』

30

川

30

## 「関宿城博物館30年の歩み」

会期 7月1日～9月28日

これまでの当館の歩みを展示ポスター等で振り返ります。

30

## 「戦国から江戸初期の関宿」

会期 10月4日～11月30日

戦国期から江戸事態初期の関宿の様子を紹介します。

## 「もつと『利根川図志』」

会期 4月15日～7月29日

『利根川図志』に描かれた流域の文化や歴史などを紹介します。

パネル展：3階多目的室にて、当館周辺の自然や歴史等を紹介するパネル展を年間3回、実施。



過去の展示の様子

発酵

4～10月開催の  
大阪万博の千葉県  
ブース展示「醸造」に  
あわせ、当館の常設展  
「醤油醸造業と水運」  
コーナーを充実。



連携  
展示

戦後80年記念  
鈴木貫太郎記念館  
出張パネル展示

## 公募展

## 関宿城絵画コンクール作品展

会期：9月15日～10月12日

内容：関宿城とその周辺を題材とした作品を公募し、優秀作品を表彰するとともに、作品の展示会を行います。



過去の展示風景

30

## 第25回関宿城百景写真展示

会期：12月5日～令和8年1月18日

内容：当館は、利根川・江戸川に囲まれ、自然豊かな田園風景が広がっており絶好の景勝地となっています。四季折々の中で様々な表情を見せる関宿城を題材とした写真作品展を開催します。



過去の展示風景

30

## 収蔵資料展









## 「昔の暮らし」

会期 令和8年1月20日～4月19日

内容：昔の暮らしに関する民俗資料を中心に、昭和のころの生活の様子を再現します。また、ペーゴマやコマ、おはじきなど、懐かしい遊具で実際に遊べる体験コーナーも設置します。



# 千葉県立関宿城博物館 令和7年度普及関連事業計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30周年記念事業 企画展：関宿藩を支えた人と領地(仮)等											
謎解きクイズラリー 製作・準備						★ R7年度企画展 記念式典 シンポジウム 歴史散策 解説会 体験教室 ワークショップ					
謎解きクイズラリー：チーバくんとカッピーの関宿探検隊											
講座・セミナー											
		博物館セミナー		利根川・江戸川流域の歴史や民俗、自然について講演。 7回							
体験教室・ミュージアムトーク											
体験教室 「関宿城下をあるこう」 (城下町コース2回・河川コース2回)				「河川敷の生き物さがし」		「石仏見学会」					
ミュージアムトーク		学芸員による展示解説 6回									
ワークショップ・イベント											
カッピーまつり		県民の日イベント		夏休み子どもスケッチ				お正月飾りをつくろう		関宿城でお正月	
学校関連事業											
団体見学に伴う解説 (随時)				野田市初任者教員研修		教員のための博物館利用研修会					
他機関との連携											
公民館等への出前講座 (随時)											
											
関宿城さくらまつり 地元商工会											





# 千葉県立房総のむら

# 千葉県立房総のむら 令和6年度活動内容

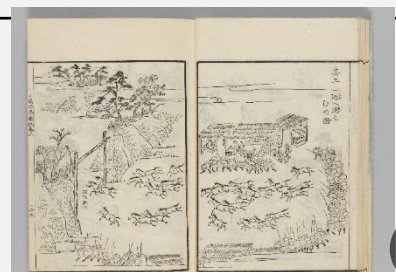
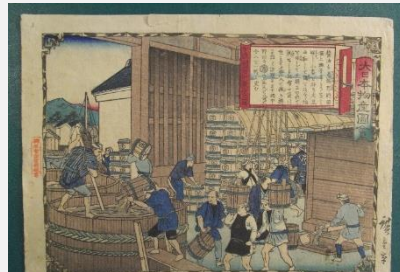
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
むらの歳時記 (抜粋)	雛祭り	端午の節供	お盆持帰りの 習習え	七夕	盆	十五夜	十三夜	えびす祭り	冬至	正月	節分	もちびやり
まつり		春のまつり (5/2～6)			むらの祭日 ・夕涼み (8/3,4)		秋のまつり (10/5,6)	日本遺産北総 四都市デー (11/3)		むらのお正月 (1/3,4)		さくらまつり (3/20～24)
展覧会	千葉県誕生150周年記念 「写真で見るちばのあゆみ」 パネル巡回展 (3/23～5/12)					『地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～ ～千葉県教育振興財団設立50周年記念展part1～』 (9/21～11/17)				企画展「地域に生きる醤油づくり」 (12/7～2/2)		トピックス展 「房総の牧」 (2/22～4/20)
風土記の丘資料館		考古学講座 (5/9)			考古学講座 (8/25)		考古学講座 (10/27)				考古学講座 (2/23)	
観覧会等				子ども風山 観覧会(7/6)			子ども風山 観覧会(10/13) ・風山観覧会 (10/19)	風山観覧会 (11/23)			野島観覧会 (2/8)	
体験項目	団体体験	「昔あそび」「千代紙ろうそく」「米作り」「昔のくらし説明」「風土記の丘資料館展示説明」など団体を対象とした体験等										
	わざ指南道場	「船鑑指南」「竹垣作り」「果樹の手入れ」「うなぎ焼きの技」「産木の手入れ」など、職人や館職員から技の指導を受けながらの体験										
	むらの達人講座	「わら細工コース」「竹細工コース」「産るくるコース」など、1カ月から1年かけて、初歩から始めてより高度な技術を習得する体験										
	農家体験	炭焼きなどの農事体験、食品加工・手工芸・生活歳時記・子どもの遊びなどを体験										
	武家体験	江戸時代の武士やその家族が習得した稽古事の体験や、年中行事の実演・体験など										
	商家体験	「太極き寿司講習会」や「折り木のカレンダー」「千代紙ろうそく」「紙の小物作り」など、16の各商家における様々な体験										
	風土記体験	「勾玉作り」「古鏡ガイド」「縄文茶作り」などの体験・解説など										
	その他	「伝統文化入門」講座(年3回)、「房総産(柳家三三、柳家三之助寄贈会)」(年3回)、歴史の星の音楽会、北総江戸めぐり(年2回)、ボランティアによるガイドツアーなど										

千葉県誕生150周年記念「写真で見るちばのあゆみ」写真巡回展 (3/23～5/12)  
県立中央博物館は、明治6年(1873)に千葉県が誕生してから150年間のあゆみについて、県立博物館等が所蔵する写真により構成したパネルを作成し、県内各地を巡回します。房総のむらでも展示を行い、その際に、当館で所有する絵葉書資料をあわせて展示しました。

「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～千葉県教育振興財団設立50周年記念展part1」(9/21～11/17)  
千葉県教育振興財団(文化財センター)は11月に設立50周年を迎え、今までの発掘調査で出土した選りすぐりの考古資料を展示し、千葉県の原始から中近世までを振り返ります。

企画展「地域に生きる醤油づくり」(12/7～2/2)  
千葉県の醤油づくりは、17世紀前半に始まり、その生産量は現在、野田市と銚子市を中心に日本一を誇ります。醤油生産の概要や、今も地域に生きる醤油づくりを、聞き取りを基にしたパネルや道具、資料などで紹介します。

トピックス展「房総の牧」(2/22～4/20)  
房総地域に古来より存在した牧は、江戸時代には軍馬の生産地となり、明治期には酪農や牧羊が行われるようになりました。本展覧会では、牧の移り変わりの様子を資料や写真を用いて紹介します。



## 1 利用状況について

区 分	入館者数	うち外国人数	体験者数（延べ）
令和5年度	157,532人	4,460人	110,469人
令和6年度	161,324人	4,426人	102,282人
前年度比	2.4%増	0.8%減	7.4%減

## 2 主要事業の状況

### (1) 体験・実演、講座等（まつりを除く）

体験307件、実演展示151件、講座観察会等10件 計468件

体験者数（延べ）：55,676人

### (2) イベント

まつり年6回実施

入館者数：45,339人、体験者数（延べ）：46,606人

### (3) 展覧会

#### ア 千葉県誕生150周年記念

「写真で見るちばのあゆみ」パネル巡回展：38,572人、うち6年度32,213人

#### イ 「地中からのメッセージ～旧石器・縄文・弥生～」

ー千葉県教育振興財団設立50周年記念展Part1ー」：34,655人

#### ウ 企画展「地域に生きる醤油づくり」：21,571人

#### エ トピックス展「房総の牧」：28,957人、うち6年度18,685人

## 3 その他

### (1) 多言語翻訳機の導入

### (2) 「宣伝キャラバン隊」による広報活動



# 千葉県立房総のむら 令和7年度 主要事業計画

	令和7年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年 1月	2月	3月	
ま つ り	春のまつり 5月2日(金)～6日(火・振休) 「あそびと暮らし」をテーマに伝統的な技の実演、昔遊びの体験、民俗芸能の上演などを行います。 5月5日はこどもの日にちなんだ催し物を実施します。				むらの縁日・夕涼み 8月2日(土)・3日(日) 「涼む」をテーマにし、夏にちなんだ製作体験、怪談話など縁日の賑わいや夕涼みの空気を楽しみます。 浴衣・基平の方は入場無料。 開催日は、開館時間を午後12時から午後7時30分に変更して実施します。		秋のまつり 10月4日(土)・5日(日) 「秋の収穫への感謝」をテーマに、伝統的な技の実演や民俗芸能の上演、お米にちなんだイベントなどを行います。	文化の日・日本遺産北総四都市デー 11月3日(月・祝) 文化の日にふさわしい伝統の技や伝統芸能等の実演を行います。また、日本遺産「北総四都市江戸紀行」のガイダンス施設として、この遺産のストーリーや構成市である成田市・佐倉市・香取市・銚子市の伝統文化、観光・物産等を紹介しします。 文化の日のため入場無料。	むらのお正月 1月3日(土)・4日(日) 「昔ながらのお正月」をテーマに年の始まりの華やぎを演出し、獅子舞など正月の風物詩が楽しめます。 和服の方は入場無料。開館時間は午前9時30分から午後4時まで。		さくらまつり 3月20日(金・祝)～22日(日) 24日(火)・25日(水) 「桜を愛しむ」をテーマに、館内に咲き誇る300本の桜を紹介し、春や桜にちなんだ実演・体験を行います。 3月22日は大道芸などの催し物を実施します。	ま つ り	
	 												
展 覧 会	トピックス展 「房総の牧」 2月22日(土)～4月20日(日) 房総地域に古来より存在した牧は、江戸時代には軍馬の生産地となり、明治期には酪農や牧羊が行われるようになりました。本展覧会では、牧の移り変わりの様子を資料や写真を用いて紹介します。				「地中からの」 9月6日(土)～10月26日(日) 公益財団法人千葉県教育振興財団(文化財センター)は令和6年11月に設立50周年を迎えました。今までの発掘調査で出土した選りすぐりの考古資料を展示し、千葉県の原始から中近世までを振り返ります。今回はpart2として古墳・古代・中近世の展示を行います。		メッセージ ー千葉県教育振興財団設立50周年記念展 part 2ー  屋外展示「千葉の民俗芸能」 10月18日(土)～11月24日(月・祝) 千葉県では、古くから各地で様々な民俗芸能が行われてきており、その内容は、神楽や風流だけでなく、囃子や歌、能狂言などその種類も様々です。本展覧会では、そのような民俗芸能の中から獅子舞に焦点を当てて紹介します。	企画展 「房総の海辺のムラ(仮)」 12月6日(土)～令和8年2月1日(日) 千葉県は三方を海に囲まれ、古くから人々は海と共に生活を営んできました。本展覧会では、下総・上総・安房地方のそれぞれ特徴のある漁村を取り上げ、海に支えられた人々の生活やその変遷を、漁具や浮世絵、写真などを用いて紹介します。			展 覧 会		
	考古学講座 4月20日(日) 「貝輪の考古学」 講師：東京大学 特任研究員 忍澤 成規氏			考古学講座 7月27日(日) 「家形埴輪の構造と変遷」 講師：京都国立博物館 研究員 古谷 毅氏		考古学講座 9月28日(日) 「50年の調査成果からー古墳時代～近世ー」 講師：千葉県教育振興財団 文化財センター職員					考古学講座 2月22日(日) 「国造制と房総の豪族」 講師：国立歴史民俗博物館 教授 仁藤 敦史氏	風土記の丘資料館	
里山観察会など			里山づくり講座 6月28日(土) むらの里山の現状	子ども里山観察会 7月20日(日) 夏の夜の虫たち		子ども里山観察会 10月11日(土) やさしいきのこ観察会	里山観察会 10月19日(日) 野生のきのこ	里山観察会 11月23日(日・祝) コケ植物			野鳥観察会 2月8日(日)	里山観察会など	
落語会・音楽会など	伝統文化入門 5月25日(日) 	房総座 6月29日(日)  町並み探検隊(市川市) 6月22日(日)	教員のための博物館利用研修会 7月25日(金)	伝統文化入門 9月27日(土) 	房総座 10月26日(日)  歴史の里の音楽会 10月13日(月・祝) 	町並み探検隊(鎌ヶ谷市) 11月16日(日)  ユニセフ・ラブウォーク in 房総のむら 11月23日(日・祝)	伝統文化入門 12月21日(日) 	ビックリひなまつり 2月14日(土)～3月3日(火)  房総座 2月7日(土)	落語会・音楽会など				



## 1 利用状況について（4月～7月）

区 分	入館者数	うち外国人数	体験者数（延べ）
令和6年度	53,089人	2,171人	27,357人
令和7年度	50,406人	2,580人	21,846人
前年度比	5.0%減	18.8%増	20.1%減

## 2 主要事業の状況（4月～7月）

### （1）体験・実演、講座等（まつりを除く）

体験162件、実演展示57件、講座観察会等8件 計227件

体験者数（延べ）：12,589人

※里山づくり講座(6/28)中止

### （2）イベント

まつり1回実施（春のまつり）

入館者数：12,120人、体験者数（延べ）：9,257人

### （3）展覧会

トピックス展「房総の牧」：28,957人、うち7年度10,272人

## 3 その他

（1）3館合同スタンプラリー（航空科学博物館、芝山古墳・はにわ博物館、房総のむら）

（2）開館時間の延長（夜間開館の実施）

## 千葉県立美術館・博物館評価について

令和 7 年 8 月 28 日  
千葉県環境生活部スポーツ・文化局  
文 化 振 興 課

## 1 美術館及び中央博物館の外部評価の再開

博物館法においては、博物館の運営にあたり評価及びその結果に基づいた運営の改善が努力義務とされており、千葉県では平成 18 年度から 29 年度にかけて美術館・博物館の外部評価を行ってきた。

しかし、県立美術館・博物館は、「公の施設の見直し方針」（平成 28 年 7 月）を受け、各館の在り方について検討を始めたため、「外部評価」の結果を中・長期的視点での経営戦略等に生かすことができなくなった。このため、「外部評価」は平成 30 年度から一旦休止し、自己評価票の作成のみを行ってきた。

その後、美術館及び中央博物館はそれぞれ、今後の運営指針となる「千葉県立美術館活性化基本構想」「千葉県立中央博物館みらい計画」を定め、令和 6 年度にはこの計画を実現するため、今後 4 年間の事業計画である「千葉県立美術館実施計画」「千葉県立中央博物館実施計画」を策定した。

これにより、美術館及び中央博物館は令和 7 年度から自己点検（※ 1）に加え、外部評価を再開する。

※ 1 美術館、中央博物館は、従来の「自己評価」を「自己点検」と称することとした。

## 2 美術館及び中央博物館の外部評価の手法

実施計画の総合指標・総合的目標及び重点事業の評価指標の達成状況について評価を行う。中央博物館については、基盤事業の評価指標についても評価を行う。

## (1) 自己点検

「外部評価用自己点検票」を用いて自己点検を行う。

## ① 美術館

## 【総合指標】

当該年度の目標値を年度当初に設定し、年度終了時に実績値を記入し達成度を判定する。判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

## 【重点事業】

実施スケジュールに記載された実施項目について、当該年度に実施する内容を年度当初に記載し、年度終了時に実績を記入する。

当該年度の目標値を年度当初に設定し、年度終了時に実績値を記入し達成度を判定する。

実績と判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

## ② 中央博物館

### 【総合的目標】

当該年度の目標値を年度当初に設定し、年度終了時に実績値を記入し達成度を判定する。  
判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

### 【重点事業】

具体的な取組に記載された取組内容のうち、当該年度に実施する事業を年度当初に記載し、年度終了時に実績を記入する。

当該年度の目標値を年度当初に設定し、年度終了時に実績値を記入し達成度を判定する。  
実績と判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

### 【基盤事業】

評価指標が定められた基盤事業について、当該年度の目標値を年度当初に設定し、終了時に実績値を記入し達成度を判定する。

判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

## (2) 有識者による評価

外部有識者（千葉県立美術館アドバイザー会議委員、千葉県立中央博物館リニューアル検討懇談会委員）は、「有識者評価票」を用いて自己点検結果を評価する。

## (3) 今後の活動方針の検討

「評価総括票」に自己点検結果及び有識者による評価を取りまとめ、今後の活動方針を定める。

## (4) 千葉県博物館協議会への意見聴取

外部評価結果（「評価総括票」）を千葉県博物館協議会に報告し、意見を伺う。